

事務事業 No./名称	□サービス部門 消防-06 消防施設整備事業 ■支援部門				ザイムスコード及び個別事業名			
					237	消防施設整備事業		
主管課	消防総務課		関連課					
分野名	地域安全							
目標 (目標値)	消防施設の充実							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	6,909千円	123,500千円					
	(国・県)			指標と評価				
	(負担金等)			指標	設備の管理			
	(一般財源)	6,909千円	123,500千円	評価	○			
	人員配置数	1.0人	1.0人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	9,290千円	9,391千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	16,199千円	132,891千円	20年度	○	○		
	市民1人当りの経費	92円	753円	21年度	○	○		
	対象者1人当りの経費			22年度	○			
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度	○			
				最終年度 (年度)	○			
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・消防本部以外の庁舎においても、ヒートポンプ設備の老朽化が著しい施設があるため、本部庁舎同様整備していきたい						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ヒートポンプ設備については、保守管理を実施し稼働状態は概ね良好であったため、修繕するには至らなかった						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・保守管理を行い特に大きな故障など問題がなかったため、改修は行わなかった						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・設備が老朽化しているため、今後は計画的に整備したい						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
B	無	改善については、今後計画をたて対応していく		B	無	今後も可能な限り、消防施設の整備を図りたい		
課長名		堀 英彦		部名・部長名		消防本部 畑 光則		